

# デフリンピックってなに？ 知って手話体験して観戦しよう！



2025年に開催されるデフリンピック（きこえない人のための世界規模の大会）に向けて、映画「みんなのデフリンピック」を視聴して、デフアスリートとの交流や簡単な手話を学び、デフリンピックを応援に行きましょう！興味がある方必見です。

映画「みんなのデフリンピック」を  
観て、デフリンピックを知ろう！

デフアスリートに聞いて  
みよう！

手話を覚えて  
デフリンピックを  
応援しよう！

手話をやって  
みよう！



◇日時：2024年10月5日（土） 午後2時から4時

◇場所：明治公民館 4階ホール

◇定員：80人

◇応募対象：市内在住、在勤、在学の方

◇内容：映画上映（裏面映画詳細）、デフアスリート交流、ミニ手話講座

◇参加費：無料 ※当日は手話通訳、要約筆記あり。

◇申込：電話、来館、FAX、電子申請→右側の二次元コードまたは、  
藤沢市ホームページ「明治公民館事業案内」から電子申請  
にてお申込みください。

◇申込締切：9月17日（火）まで

結果は9月20日頃、当選者のみに郵送でお知らせいたします。

◇問い合わせ：明治公民館（藤沢市辻堂新町1-11-23）

0466-34-5660（平日午前8時から午後5時）FAX0466-33-5727



申込はこちら



DEAFLYMPICS FOR ALL

# みんなのデフリンピック

クラスで友達とおしゃべりに興ずる一人の女の子。  
 そう、ここはきこえない生徒たちが通う、ろう学校。  
 よく見ると、彼女も同級生たちもみんな、しきりに手を動かしている。  
 どこにでもいそうな普通の女子高生の彼女には、もう一つの顔がある。  
 放課後も週末もプールへ通い、水泳の練習に熱心に取り組むデフアスリート。  
 「感謝の気持ちを胸に、デフリンピックを目指したい」  
 彼女には『デフリンピック』という夢がある。  
 「パラリンピックじゃなくて、デフリンピック？ きこえなくても体が自由に動くのなら、オリンピックを目指したら？」  
 でもデフアスリートたちには、競技をする上でいくつものバリアがある。  
 「きこえない」だけではないのだ。  
 彼らには、『デフリンピック』で競い合うことにこそ、意味がある。  
 きこえない人ときこえる人が共に手を取り合う、共生社会の実現とは。  
 そして、『2025年東京デフリンピック』が目指すものとは

上映会を  
開催してみませんか？

映画「みんなの  
デフリンピック」  
上映活動ページを  
ご覧ください



出演： 吉瀬千咲 茨隆太郎(水泳/手話) 植松隼人(サッカー) 亀澤理穂(卓球) 早瀬久美(自転車) ほか

監督・脚本：重田千輝

製作：一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会  
 制作：認定NPO法人障害者放送通信機構

2023年 | 21分 | 16:9 | ステレオ

©2023 Japanese Federation of the Deaf Sports Committee ALL RIGHTS RESERVED.

協賛



一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会